

●「ものづくり補助金」の申請書作成の手順①(全体像)

※個人利用限定

申請書の作成



Step1

「審査ポイント」を押さえた情報を網羅的に収集・整理する。

Step2

全体ストーリーを意識しながら申請書の項目名を設定する。

Step3

申請書の項目名とStep1の情報を関連づけて文書化や図表を差込む。

現状	解決策	実施効果
(A) 既存事業の課題 (2-2) Q: 既存事業において生産面や技術面でどんな課題を抱えているか? (品質、価格、コスト等) . (B) 市場機会(顧客要求) (3-2) Q: 市場ニーズや顧客要望はあるが、何らかの制約により対応できていない新規事業(機会)はあるか? .	(C) 実施テーマ (2-1) 例) ●●部品の高精度化/短納期化/コストダウン (D) 実現手段 (2-2, 2-3, 2-4) 例) ●●設備の導入と工程変更 (E) スケジュール (2-2, 2-3) (実施項目とスケジュール)	(H) 期待効果 (2-1, 2-3, 3-3) Q: 生産性、競争優位性等、どんな効果が期待できるか? . (J) 市場・顧客への影響 (3-2) Q: 対象の市場や顧客にとって、どの程度のインパクトがあるか? .
審査項目(概要) 2.技術開発 2-1.革新性 (3~5年計画で「付加価値」率3%以上「経費削減」率5%以上) 2-2.課題の明確化、目標に対する達成度が明確。 2-3.解決方法が明確かつ妥当であり、達成性が裏込まれる。 2-4.実施体制及び実施能力が備わっている。 3.事業計画 3-1.事業実施計画(人材、事業実施能力等)や最近の財務状況等から、実行ができる。 3-2.事業化が可能なユーザー、マーケット及び市場規模が明確。 3-3.経済的・社会的に公益性を有し、事業化の進め方とスケジュールが妥当。 3-4.投資費用削減が期待。 (補助金投入額に対する売上・利益増)	(F) 実施体制 (2-4, 3-1) (技能者・営業マン・技術支援機関など) (G) 会社概要 (3-1) (社歴・商品構成・顧客・業績など)	(K) 経営結果 (3-3, 3-4) Q: どの程度の売上・利益が期待できる? . 【記号の見方】 ●●●●●●●●●● 申請書の各項目との関連記号 審査項目との関連記号

【当社の事業内容と現状】 (G): 「会社・事業の特徴」「近況(売上・利益推移)」などを説明する。 その1:革新的な試作品開発・生産プロセスの改善の具体的な取組内容 【1-1:事業取組の背景】 (A)(B): 対象となる事業の特性や市場変化等を踏まえ、事業に取組に至った現状の背景を簡潔に説明する。 【1-2:現状の課題】 (A)(B): 対象の事業を推進する上での課題を具体的に説明する。 例) 技術的な課題をできるだけ含める 《課題1》顧客ニーズや市場変化への対応など 《課題2》低コスト化実現に向けた新構造や工程開発など 《課題3》精度のさらなる向上や、バラツキの縮小など 【1-3:課題を解決するための具体的な手段】 (C)(D): 前述の課題を解決するための具体的な手段。 例) 《解決策1》●●設備の導入、設備の特徴など 《解決策2》加工条件の最適化など 《解決策3》ノウハウの蓄積と社内共有など 【1-4:実施スケジュールと実施体制】 (E)(F): 事業を推進するスケジュールとその体制について説明する。	【1-5:対象類型との関係】 「ものづくり技術」の申請の場合、12分野との関連を説明する。 「革新的サービス」の申請の場合、役務の提供方法を説明する。 その2:将来の展望(本事業の成果の事業化に向けて想定している内容及び期待される効果) 【2-1:概要】 以降で記載する情報を簡潔にまとめる。 【2-2:期待効果】 (H): 課題を解決した結果に関する効果を説明する。 例) 《効果1》技術的な課題に関する効果 《効果2》生産性の向上に関する効果 《効果3》顧客視点における効果 《効果4》競争力強化に関する効果 【2-3:市場の動向と将来展望】 (J): 市場規模、市場動向、成長率、顧客からの情報等を説明する。 【2-4:対象事業の個別計画】 (K): 本事業の対象となる製品に関する数量・販売計画を説明する。 【2-5:会社全体の事業計画】 (K): 所定書式で会社全体の5ヶ年事業計画を提示する。 【2-6:事業計画の前提条件】 (H)(J)(K): 前述の会社全体の事業計画の前提条件を説明する。
--	---

●「ものづくり補助金」の申請書作成の手順②(情報の収集・整理)

※個人利用限定

現 状

(A): 既存事業の課題 2-2

Q: 既存事業において生産面や技術面でどんな課題を抱えているか？(品質、価格、コスト等)

(B): 市場機会(顧客要求) 3-2

Q: 市場ニーズや顧客要望はあるが、何らかの制約により対応できていない新規事業(機会)はあるか？

解決策

(C): 実施テーマ 2-1

例) ●●部品の高精度化 / 短納期化 / コストダウン

(D): 実現手段 2-2 2-3 2-4

例) ●●設備の導入と工程変更

(E): スケジュール 2-2 3-3

(実施項目とスケジュール)

実施効果

(H): 期待効果 2-1 2-3 3-3

Q: 生産性、競争優位性等、どんな効果が期待できるか？

(J): 市場・顧客への影響 3-2

Q: 対象の市場や顧客にとって、どの程度のインパクトがあるか？

(K): 経営結果 3-3 3-4

Q: どの程度の売上・利益が期待できる？

審査項目(概要)

2. 技術面

2-1: 革新的か。
(3~5年計画で「付加価値額」年率3%および「経常利益」年率1%以上)

2-2: 課題が明確か。目標に対する達成度が明確か。

2-3: 解決方法が明確かつ妥当であり、優位性が見込まれるか。

2-4: 実施体制及び技術的能力が備わっているか。

3. 事業化面

3-1: 事業実施体制(人材、事務処理能力等)や最近の財務状況等から、遂行ができるか。

3-2: 事業化が寄与するユーザー、マーケット及び市場規模が明確か。

3-3: 価格・性能に優位性や収益性を有し、事業化の遂行方法とスケジュールが妥当か。

3-4: 投資対費用効果が高いか。(補助金投入額に対する売上・収益規模)

(F): 実施体制 2-4 3-1

(技能者・営業マン・技術支援機関 など)

(G): 会社概要 3-1

(社歴・商品構成・顧客・業績など)

【記号の見方】

(X): ●●●● 3-3

申請書の各項目
との関連記号

各審査項目
との関連記号

【当社の事業内容と現況】

(G):「会社・事業の特徴」「近況(売上・利益推移)」などを説明する。

その1:革新的な試作品開発・生産プロセスの改善の具体的取組内容

【1-1:事業取組みの背景】

(A)(B):対象となる事業の特性や市場変化等を踏まえ、事業に取組に至った現状の背景を簡潔に説明する。

【1-2:現状の課題】

(A)(B):対象の事業を推進する上での課題を具体的に説明する。

※注 技術的な課題をできるだけ含める

例)

- 《課題1》顧客ニーズや市場変化への対応など
- 《課題2》低コスト化実現に向けた新構造や工程開発など
- 《課題3》精度のさらなる向上や、バラツキの縮小など

【1-3:課題を解決するための具体的な手段】

(C)(D):前述の課題を解決するための具体的な手段。

例)

- 《解決策1》●●設備の導入、設備の特徴など
- 《解決策2》加工条件の最適化など
- 《解決策3》ノウハウの蓄積と社内共有など

【1-4:実施スケジュールと実施体制】

(E)(F):事業を推進するスケジュールとその体制について説明する。

【1-5:対象類型との関係】

「ものづくり技術」の申請の場合、12分野との関連を説明する。
「革新的サービス」の申請の場合、役務の提供方法を説明する。

その2:将来の展望(本事業の成果の事業化に向けて想定している内容及び期待される効果)

【2-1:概要】

以降で記載する情報を簡潔にまとめる。

【2-2:期待効果】

(H):課題を解決した結果に関する効果を説明する。

例)

- 《効果1》技術的課題に関する効果
- 《効果2》生産性の向上に関する効果
- 《効果3》顧客側視点における効果
- 《効果4》競争力強化に関する効果

【2-3:市場の動向と将来展望】

(J):市場規模、市場動向・成長率、顧客からの情報等を説明する。

【2-4:対象事業の個別計画】

(K):本事業の対象となる製品に関する数量・販売計画を説明する。

【2-5:会社全体の事業計画】

(K):所定書式で会社全体の5ヶ年事業計画を提示する。

【2-6:事業計画の前提条件】

(H)(J)(K):前述の会社全体の事業計画の前提条件を説明する。